

2020.2.6 (木)  
パシフィコ横浜

参加無料

## 第19回 国土セイフティネットシンポジウム 激甚災害から社会・経済を守る

近年、巨大地震の切迫性が高まる一方、台風や集中豪雨など気象災害も激甚化しつつある。都市の自然災害リスクが高まる中、災害強靱性（レジリエンス）のある社会・経済を構築するためには、産官学が連携して防災・減災技術の普及・開発促進を行う必要がある。

本シンポジウムでは、「戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）」第2期における、自然災害による広域経済活動の早期復旧を主軸に、産官学それぞれの視点から、ライフライン・インフラ事業の減災・防災対策を報告する。

日時：2020年 2月 6日（木） 13：00～16：30

会場：パシフィコ横浜 アネックスホール I・J 会場

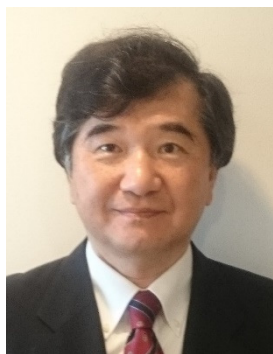
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1  
みなとみらい線「みなとみらい駅」徒歩5分  
JR京浜東北線など「桜木町駅」徒歩12分  
JR東海道線など「横浜駅」タクシー10分



### プログラム

- 開会挨拶 林 春男 国立研究開発法人防災科学技術研究所 理事長
- 来賓挨拶 工藤雄之 文部科学省 研究開発局 地震・防災研究課 課長  
井上慶司 内閣府 政策統括官（科学技術・イノベーション担当）付 参事官（安全社会担当）

### ■ 13:20～14:20 特別講演

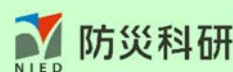


#### 南海トラフ地震・首都直下地震など広域巨大災害にどう備える？企業のBCP

西川 智 名古屋大学 減災連携研究センター 教授

南海トラフ地震津波や首都直下地震等の大規模災害の被害軽減には、各企業が個社単独でのBCP「点のBCP」から視野を拡げ、取引先企業や自社のサプライチェーンの関係「線のBCP」や事業所立地の地理的特性や地域内の他者との関係を確認・相談し「面のBCP」、準備を進める必要があり、さらには、それを支える道路等の産業インフラの強化と早期復旧戦略が欠かせない。

主 催：国立研究開発法人防災科学技術研究所（NIED）  
特定非営利活動法人リアルタイム地震・防災情報利用協議会（REIC）



後 援：文部科学省、内閣府、公益財団法人地震予知総合研究振興会、東京商工会議所  
日本防災産業会議、特定非営利活動法人日本防災士会



■ 14:20～14:35 講演①



**SIPプロジェクト第2期が目指す社会実装への課題**

堀 宗朗 国立研究開発法人海洋研究開発機構 付加価値情報創生部門 部門長  
戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期プログラムディレクター

SIP第2期「国家レジリエンス（防災・減災）の強化」では先端的防災技術の研究開発と社会実装を進めている。先端防災技術は、社会の変化に対応する維持・更新も重要である。陳腐化を防ぐ先端防災技術の社会実装の在り方を模索している。

■ 14:35～14:50 講演②



**マルチハザードリスク評価の共通情報基盤を目指して**

藤原 広行 国立研究開発法人防災科学技術研究所  
マルチハザードリスク評価研究部門 部門長

災害レジリエンスの向上のためには、事前の対策に資するハザード・リスクの評価技術及び災害発生時には迅速で適切な対応を可能とするための被害状況の推定・把握技術が不可欠となります。地震災害を対象として、ハザード情報を集約した地震ハザードステーション（J-SHIS）、地震被害状況を推定するシステム（J-RISQ）などを開発してきた経験を踏まえ、各種災害のリスク評価に向けた取り組みについて講演します。

■ 14:50～15:20 講演③



**世界最先端の水蒸気観測が拓く新しい線状降水帯対策**

清水 慎吾 国立研究開発法人防災科学技術研究所  
水・土砂防災研究部門 主任研究員

線状降水帯による大規模水害による犠牲者を減らすために、事前に線状降水帯の発生を予測し、避難に必要なリードタイムを確保する必要がある。最新の水蒸気観測技術等を用いて、半日から数時間前の予測技術を向上させることで、自治体等の避難勧告・指示の意思決定に資する情報提供を行い、確実な避難の実現をめざす。

■ 15:20～16:20 講演④



**インフラデータプラットフォームの活用  
～インフラマネジメントから防災情報システムへ～**

土橋 浩 首都高速道路株式会社 執行役員

近年目覚ましい進歩をとげているICTを活用し、GISにインフラの各種管理情報を統合するデータプラットフォームについて紹介するとともに、当該プラットフォームを活用した高度なインフラマネジメントシステム及び災害時のリアルタイム情報を統合した拡張性の高い総合防災情報システムの社会実装について述べる。

■ 閉会の挨拶 早山 徹 リアルタイム地震・防災情報利用協議会 会長

《セミナーお申込み》 第24回「震災対策技術展 横浜」のホームページよりお申込みください。

<https://www.shinsaieexpo.com/yokohama/>

※ セミナー当日、諸般の事情により演題の変更ならびに開始・終了時間の変更がございますこと、あらかじめご了承ください。

《お問合せ》 リアルタイム地震・防災情報利用協議会(REIC) 事務局

TEL: 03-5829-6368 E-mail: [reic\\_jimukyoku0305@eq7realtime.org](mailto:reic_jimukyoku0305@eq7realtime.org)